

# びふか 議会 会 です

## こんにちは。

2016年11月号  
北海道／美深町議会



### みんなのお昼ご飯を届けます！

～給食配送風景 中学生職場体験学習～

第3回定例会 チョウザメ振興に追風・・・ 2～3

平成27年度会計審査 決算審査  
特別委員会 .. 4～7

ここが聞きたい 一般質問に  
3氏登壇 .. 8～10

決議書提出 JR北海道へ要望  
飲酒運転根絶宣言する決議 .. 11

委員会レポート .. 12～13

議会広報25年の紙面から④ .. 15



# 第99号

この議会広報は、地球にやさしい再生紙を使用しています。



古紙パルプ配合率100%再生紙を使用

# 定例会



# チヨウウザメ振興に追風

平成28年第3回定例会は、9月13日から15日までの日程で開かれ、補正予算4件、条例制定1件、条例改正1件、認定7件、同意1件、意見書2件、決議2件が提出され審議が行われた。期間中、決算審査特別委員会を設置し審査を行った。国保特別会計決算は不認定とした。

## 条例制定

美深町チヨウウザメ産業振興基金条例

標を達成する基金としたい。

質問者 (藤原議員)

原案可決 (全員賛成)

美深町の特産品として事業化を目指し、北海道大学と連携し研究・育成を進めてきたチヨウウザメ事業を軌道に乗せるための基金設置。

質問 どこでどう活用していくのか。

企画G主幹 来年度から辺浜

で工事が始まるチヨウウザメ養殖施設で完成後、運営を軌道に乗せる目

## 条例一部改正

美深町有林野管理条例

中根康夫氏より仁宇布地区の山林8万5410㎡について寄附を受け、今般所有権移転登記が完了したことから面積を追加するもの。

原案可決 (全員賛成)

## 補正予算

質問 チヨウウザメの養殖支援事業交付金300万円に関連

して、町有財産施設への保険等の対応がどのようにになっていたのか。事故に対する要項が存在するのか。

総務課長 町有施設には、市町村の災害共済組合にか

けているが、火災や風水害に対応するもので、今回の事故に該当しない。事故等に対する対策の要項や基準は持っている。

## 平成27年度決算審査

一般会計決算	(認定)
国民健康保険特別会計決算	(不認定)
後期高齢者医療保険特別会計決算	(認定)
介護保険特別会計決算	(認定)
北部簡易水道事業特別会計決算	(認定)
下水道事業特別会計決算	(認定)
中央簡易水道事業特別会計決算	(認定)

### 【国保特別会計不認定の理由】

会計決算処理時に「総計予算主義の原則」である一会計年度における一切の収入及び支出は、全てこれを歳入歳出予算に編入しなければならないに反する会計処理があり採決の結果、賛成少数で不認定と決した。

## 質問

チヨウウザメ養殖支援事業交付金について、施設内で起きた事故責任は、全面的に振興公社にあると認識してよいのか。交付にあたって、何を根拠にしたのか、事故の施設は指定管理者の範囲となる施設なのか。

## 総務課長

今回の灯油の流出事故の責任は、管理運営をしている振興公社に

ある。

交付金の算定の根拠は全体で680万円、チヨウウザメ事業の継続が必要であるという認識に立ち、直接の工費にかかる概ね2分の1、これを1つの根拠として交付。

今回の施設は、振興公社に無償貸与して、公社の事業として進める対応であり、指定管理者の部分には入っていない。

# 第3回

## 主な補正の内容

補正前の額	補正額	補正後の額
48億1328万円	2億6543万円	50億7871万円

公共施設整備基金積立金	1億1700万円
チョウザメ産業振興基金積立金	1億円
ふるさと納税支援業務委託料等	332万円
ぬくもり助成事業費	230万円
チョウザメ養殖支援事業交付金	300万円
保健体育総務費	538万円
地域資源ブランド研究事業負担金	100万円
びふかアイランドコテージ改修工事請負費	217万円
びふか温泉厨房冷凍冷蔵庫	864万円
町有林管理費	620万円
公共土木施設災害復旧費	550万円

### 質問

基本的に交付金交付要綱に照らしでも直接該当しないと思うが、指定管理者の範囲ではない施設での事故責任が管理運営側にあるとき、町の産業の振興品目に力を入れていくという説明を根拠として、交付することに果たして整合性があるのか。あるとすれば、どういう整合性なのか。

### 総務課長

交付金の考え方、要綱があつて、それに基づいて交付をするものではないのかなと感じている。

チョウザメ館等々を指定管理者として、振興公社にお願いしながら、これらの基本になる部分の拡大を図ってきた経緯があり、チョウザメ事業を継続しなければならぬ判断にたつて、今回、この交付金を予算措置させていただいて継続を図るもの。

### 質問

産業振興は、チョウザメだけではない。類似の事例が発生した場合、全部を受けなければ、公平で公正な予算の執行にはならないと思うがその根拠となる基準や、体制整備が先なのではないか。今回のケースを受け、早急に対応する必要があると思うが。

### 総務課長

他の事業、農業や林業もある。一定の基準、これは必要なのかと思うが、これに該当しないことも想定できる。そこには継続性を図るためにそれぞれの産業、こういったものを推進しなければならぬという事象が発生するのではないかと考えており、その場合は特例を

## 修正案

### 原案可決(賛成多数)

びふかアイランド管理費のチョウザメ養殖支援事業交付金300万円を減額修正するもの。

主な理由は、灯油流し事故の事故責任が美深振興公社の過失によるものであり、該当施設は町が無償貸付した施設で指定管理者に指定管理した施設ではなく、交付金の性格から根拠となる条例等がない中で町民の税金を充てることに疑義がある。

設けるなどの検討も出来るかと思う。

質問について、一定程度、検討したいと考えているが、チョウザメ事業が特出した形で交付をするのかと言われれば、そうではないと考えている。

質問者 (小口、岩崎、長岐議員)

修正動議は採決の結果賛成少数で否決された。

修正案提出 (右崎議員)

## 意見書

意見書2本が提出され本議会で審議され採択されました。

●林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書  
提出議員 小口 英治  
賛成議員 藤原芳幸・岩崎泰好・長岐和彦・荒川賢一

●TPP協定の国会批准をしないことを求める意見書  
提出議員 岩崎 泰好  
賛成議員 和田 健  
意見書を国へ提出

## 人事案件

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正に伴い教育委員会教育長(任期3年)の任命に同意



石田政充氏

〔一般会計のなかみ〕  
**町民1人あたり**  
**このように**  
**使われました。**

一般会計総額  
**48億234万円**  
 町民1人あたり  
 約**104万円**

平成28年9月30日現在 人口4,621人

# 決算審査特別委員会

9月15日・16日の2日間、決算  
 審査特別委員会が施策評価調査・  
 決算説明書等により行われた。



藤原芳幸決算審査特別委員長

## 決算概要

**質問** 一般会計の不  
 用額が一億三千  
 万円あるが、特徴的な  
 ものは、それに応じて  
 予算額が大きくなるの  
 は如何なものか。

**副町長** 不用額は各  
 経費の少額な  
 集積となっており、基  
 金に積み立てている状  
 況。今後は厳しく査定  
 していきたい。

**質問** 固定資産税に  
 ついて、人口減  
 に伴い廃屋や土地に対

する課税徴収の在り方  
 と滞納状況は。

**税務G主幹** 家屋の  
 減失が近  
 年増加の中、基本的  
 に本人の申告だが、各  
 方面で連携し手続きを

促している。  
 土地においては複数  
 の相続人が発生してい  
 る状況もあり、代表者  
 に通知書を送付するが  
 連絡が取れず、滞納整  
 理機構を通じて手続き  
 をしている例もある。

## 総合計画 第1章 自然環境と調和する 安全・安心なまち「美深」

### 防災体制の充実

**質問** 高齢化社会に  
 向けて、耳の不  
 由な方などには災害発  
 生時にサイレンと防災  
 端末機の告知が必要で  
 は。

**総務課長** 従来のサ  
 イレン告知  
 については防災端末機  
 の活用が必要との認識  
 だが、情報伝達にタイ  
 ムラグの問題がある。

**質問** ハザードマッ  
 プが更新され、  
 住民意識も高まってい  
 る中、実際にどのよう

災害時  
 は避難所  
 への誘導など町職員だ  
 けでは困難で、消防団、  
 自治会の方々等の協  
 力が重要であり、防災計  
 画作成後に周知したい。

**総務G主幹** 要援護者の把  
 握と円滑な救助  
 安否確認の体制整備が課  
 題とされているが対策は。

**総務G主幹** 要援護  
 者につい  
 ては名簿作成と個別の

対応計画も求められて  
 おり、対象者を把握し  
 防災計画に位置付ける。

### 消防団の充実

**質問** 消防団員の  
 数について、現  
 状定数に不足が見られ  
 るが改善策は。

**消防副署長** 消防団  
 員の不足  
 については苦慮してい  
 る状況であり、各公共  
 施設に張り出した募集  
 ポスターや勧誘などで  
 4名が加入している。

**質問** 北海道警察が  
 発表している飲  
 酒運転根絶啓発運動

### 交通安全対策の推進

**質問** 資源をいかす  
 活力に満ちたまち「美深」

## 総合計画 第2章 資源をいかす 活力に満ちたまち「美深」

### 企業誘致の推進

**質問** 企業誘致促進  
 条例について、  
 町長をはじめ、専属の  
 職員を配置して集中的  
 にスバルの関連企業な

酒運転撲滅の啓発運動  
 がされていないが取り  
 組みは。

**環境生活係長** 昨年  
 12月に

北海道で条例が施行さ  
 れ、7月13日が飲酒運  
 転根絶の日。飲食店を  
 中心に地域の方や警察  
 と回り啓発している。



飲酒運転根絶啓発運動

どへ、セールスが必要  
 ではないか。


**総務課長** 専属職員  
 を配置する  
 のはベストと考えるが、  
 現状到達していない。

労働費  
**584万円**




町民1人あたり  
**1,264円**

衛生費  
**4億8337万円**



町民1人あたり  
**104,603円**

民生費  
**6億1320万円**



町民1人あたり  
**132,699円**

総務費  
**5億1853万円**



町民1人あたり  
**112,212円**

議会費  
**5834万円**



町民1人あたり  
**12,625円**



都市間バス「えさし号」

**総務課長** 都市間バスの運用における町内の接続問題だが、スムーズな接続とはいかないまでも可能な限り目的の地まで行けるよう検討したい。

**質問** 都市間バスについて、札幌圏からの利用客が美深町内の各観光スポットへアクセスするための整備はどのような認識か。

**観光の振興** 企業立地のPRはスバル関連企業や地元農産物に関連する企業とコンタクトをとり、結びつきたい。

**農務課長** 小麦の作付けについて、初冬まきの振興とリスク分散という面でJA等と協議しているが、畑作振興の中で、近年小麦の作付面積は減少し、天候などで減収しているのが現状。

**農政係長** 担い手協会の欲のある方は積極的に受け入れすべきとしている。大きなリスクを負っても美深で就農して良かったと思っていたためには、直ぐには結論を出せないが、前向きに進めていきたい。

**農業の振興** 新規就農者条例では単身者が認められていなく、要望があり、意欲のある新規就農者を逃しているのでは。

**学校給食C長** 添田町や太田市の担当者との協議し献立の担当者と協議し献立

**学校給食C長** 給食をみんな揃って残さず食べること为目标とし、今年からは栄養教諭が各学年で食育の授業を行う。

**質問** 食育推進事業として平成27年度から給食が始まり、各家庭、学校で食育推進の効果が出ているとしているが、具体的な内容は。

総合計画  
第3章

次代をつくる人を  
育てるまち「美深」

ては来年正念場を迎える。寒冷地作物としての

基本は変わらないが、新年度に向け協議が必要と考えている。



給食残さず食べます！

の交換をしている。食材の交換は行っていないが、添田町から特産品の梨が送られ、メニューに入れていく。

**質問** 放課後子ども教室、児童クラブを統合しているが、どのような検討がされているのか。

放課後子どもプラン推進事業


**教育次長** 韓国の平昌オリンピックに向けて、選手の外遠征に微力ではあるが支援をしてきた。最大の目標は選手達の練習環境や体制の整備であり、町民のみならずにアピールをしながらか支援していける環境を作っていきたい。

**質問** エアリアルはマイナー競技ではあるが、これまでの取り組みを鑑み普及活動の支援が必要。資金面でも家庭負担を考え、将来のアスリートを育てる思い切った処置が必要では。

**エアリアル推進事業** エアリアルは

**教育G主幹** 近年登

教育費  
5億3175万円




町民1人あたり  
115,072円

消防費  
2億6387万円



町民1人あたり  
57,102円

土木費  
5億1880万円




町民1人あたり  
112,270円

商工費  
1億9017万円



町民1人あたり  
41,153円

農林産業費  
2億4380万円



町民1人あたり  
52,759円

総合計画  
第4章  
健康で明るく  
暮らせるまち「美深」

子育て支援事業

**質問** 若い世代の女性が結婚、妊娠

出産にむけて安心して暮らせるための先進的な取り組みは。また、職員間の連携や協議、保護者からの要望把握が大事であり、子育て支援の考え方を要綱としてまとめることが必要だと思うが。

保健福祉課長 乳幼児

の拡大、不妊治療の助成、道補助の上乗せなど地道な治療費、医療費の支援を行っている。育児の場面で、大事にしたいのは目立つ事業でなく、良かったと思えるような事業をライフステージに沿った形であつたらいいのかが行政がすべきことではないのか考えている。

地域医療

**質問** 厚生病院の1日あたりの外来

入院等の患者目標数値は年々下がっているが、どのように設定しているのか。

保健福祉G主幹 目標数

値は厚生病院側がたっている。



重要な地域医療  
美深厚生病院

高齢者支援

**質問** 買い物支援と

合わせ行っているが高齢者の見守りについて、支援体制がな

なり、どのように見守り体制をしているのか。  
地域包括支援 C副主幹 民生委員活動として、毎年カプセルの確認作業を兼ねて独居世帯の方には訪問して確認している。



ほっとカプセル

自治会活動

**質問** 自治会活動維持費について、

世帯数が減少し、今後一桁になった場合でも認めるのか。

総務課長 自治活動が出来るかが大きな問題であり、その地域の自治を担う

総合計画  
第5章  
みんなのでつくる  
心かようまち「美深」

国際交流

**質問** 20周年を迎え

アシユクラフト村との交流は一定の判断する時期にきているのではないのか。語学教育や違う視点から国際交流事業を展開する時期と思うが、考え方は。

地域間交流

**質問** 太田市との地域間交流をどのようにしていくのか。

総務課長 基本はスバルを通しての太田市との交流。町からのイベントへの派遣が主で公式的に来町はないのが状況。太田市とのきっかけ作りについて機会を設ける方法も検討したい。

総務課長

相互訪問によって文化生活様式を捉えたい

一般会計総額  
**48億234万円**  
町民1人あたり  
約**104万円**  
平成28年9月30日現在 人口4,621人

〔一般会計のなかみ〕  
**町民1人あたり  
このように  
使われました。**

職員給与費  
**7億6953万円**  
町民1人あたり  
**166,529円**

公債費  
**4億8622万円**  
町民1人あたり  
**105,220円**

災害復旧費  
**1億1892万円**  
町民1人あたり  
**25,735円**



老朽化が目立つ役場庁舎

**役場改修**

**質問**

住民サービスや災害の観点から庁舎の大規模改修について、PFI方式による庁舎設計・建設・管理も視野に入れ考え方もよいのではないかと。

**総務課長**

老朽化が激しいことは認識している。担当部局の構想、具体的に調整したものはないが進めなくてはならない。PFI方式は非常に有意義であるが検討したことはなく、改修は財源をみながら検討したい。

**地域おこし協力隊**

**質問**

地域おこし協力隊は今後も5名で、てこ入れはしていく考えはないのか。外国人でも可能な制度か。

**企画G副主幹**

追加募集もかけるが、希望する職種などが合わないなどの理由から補充が来ていない。外国籍は難しい。

**地域人材育成事業**

**質問**

地域人材育成事業の妥当性がC評価であるが、若い世代の人たちに積極的に街づくりに取り組んでいただくためにも、研修参加者を中心としたワークショップの実施は考えているのか。

**企画G主幹**

地域人材育成事業は昨年からリニューアルして取り組んでいる。

**情報公開**

教育委員会の会議報告事項について説明内容がわからない事項がある。HPの検索方法は改善されないのか。

**質問**

設計上、基本的なスタイル変更は難しいが、トピックスの出し方や新着情報を整理したい。

**総務G主幹**

設計上、基本的なスタイル変更は難しいが、トピックスの出し方や新着情報を整理したい。

**教育次長**

教育委員会の報告については改善する。

**ふるさと納税**

返戻品を目的としていない、純粹に寄付を頂いている方からの実績がある中、ふるさと納税の状況をどのようにつまえて

**質問**

返戻品を目的としていない、純粹に寄付を頂いている方からの実績がある中、ふるさと納税の状況をどのようにつまえて

いるのか、また課題は何か。

**総務G副主幹**

美深町に縁のある方からの寄付が全体の9割以上で、返礼品についてHPやポータルサイトと比較されると劣っているかなと思うが、各種業者生産者と話をしている。



10月より「ふるさと納税ポータルサイト」加入

行政が設置する委員の登用についてどのように進めるよう考えているのか。

**教育G主幹**

男女わげ隔てなく選考、登用を行っている。町全体ですと女性が活動する場面も多く見られ、しっかり取り組んでいく。

**財産に関する調査**

宅地、牧野、山林の現在の評価額があるのか。

**質問**

**財務係長**

国から、全ての自治体が同じ基準で比較できるようにと、平成28年度決算を用いて29年度中までに固定資産の整備をする。

**男女共同参画**

男女共同参画を迎える長い時間が経っているが、今後

が経っているが、今後

「質問者 小口、長岐、和田、荒川、岩崎、南委員」

① 山村留学の今後のあり方について



齊藤和信 議員

**問** 地元生徒がゼロになっても継続するか

**答** 大きなテーマだと思う(教育長) 懇談会を立ち上げ、慎重に対応(町長)

**質問**

仁宇布地区を維持するというところで、平成3年度より山村留学が行われて来たが、道内の推移をみると年々減少してきている。

毎年ある程度の町費を出し行っているが、今後どのような形で進めていくのか。

仁宇布小中学校の校舎建て替えに対し全町的な理解・合意が必要と答えているが、どのような手法を取るのか。

**教育長**

これまで長い間続いてきたということは、地域が主体的に子供たちを支えてきた結果であり、山村留学は仁宇布の地域であるからこそ進めてこられた事業だと思っている。

留学をする子供たちに対して、地域の支援が今後も続けていかれるという考えの下で、出来る限り継続をしたいと考えている。

**町長**

仁宇布小中学校

学校校舎の建て替えとなれば莫大な経費がかかってくるので、町全体の幅広い考え方や様々な意見をいただいて、議論、整理をしていく必要がある。懇談会を立ち上げ、今後の方向性について説明と議論を深めていきたい。29年度の段階で教育委員会として一定程度、考えを整理したいと思っている。

仁宇布小中学校のあり方に関する懇談会を立ち上げ、学校の存続や、今後どうしていくのか、こういう問題について、教育委員会が町民の中に入りながら、色んな議論を聞いて、ご意見を頂けるものだと思う。私としては、そういう意見等々を受けながら、慎重に対応したいと思っている。

**教育長**

山村留学制度が始まって以来の大きなテーマだと思っている。

ただ、教育の視点から見て、子供たちの特定の課題を持った子供たちに対して、非常に大切な教育の場であると考えている。

そして、総合的に見て、山村留学が出来るか出来ないかという視点で考えると、一定程度継続していける可能性は十分にあると考えている。



改修改築の議論が急がれる校舎



地域と共にある山村留学





藤原 芳幸 議員

## ①洪水時の防災対策について

### 問 危機に対する認識に変化は

### 答 今後も治水の要望をしてゆく

**質問** 今年の夏も道内各地で大雨による想定外の災害が相次いだ。

被災地では様々な課題が浮き彫りになった。美深町では幸い大きな被害はなかったが、一歩間違えば大きな災害に遭遇した可能性もあった。

天塩川の治水は進んではいるものの、ここ数年の気象の変化が実感できるほどになってきているが、危機に対する認識に変化はあるのか。

**町長** 過去の洪水災害の教訓を活かし天塩川の治水を進めてきた。

近年は天塩川本流より内水による災害防止を課題としてきたが、昨年、一級河川の鬼怒川の災害発生を踏まえ天塩川でも現在、河道掘削や堤防の法面補強を実施している状況で、天塩川が氾濫する可能性は小さいと考える。さらに天塩川流域市町村で構成する天塩川治水促進期成会から工事の予算付けやスピードアップを要望している。

**質問** 更新されたハザードマップでは、従来の避難所に、一次避難所が追加となった。避難所に対する考

え方が変わったのか。また住民は各自で避難所を選択し避難することになるのか。

**町長** 平成25年の災害対策基本法で一時的避難場所が設置となり選択肢が広がり、従来の避難所と二段構えとなった。

避難時の基本はハザードマップに記載しているが住民に対しては適切な指示を出す。

**一時避難場所**  
災害が発生し、又は発生のおそれがある場合にその危険から逃れる避難場所

**避難所**  
災害の危険性があり避難した住民等や、災害により家に戻れなくなった住民等を滞在させるための施設  
(災害対策基本法による)



災害対策の重要拠点 美深9線救急内排水機場

**質問** 特別養護老人ホームは標高の低い場所にあり、標高の高い場所への移転も検討すべきではないか。

特別養護老人ホームが低地にあり心配する声があるのは承知している。そのことを踏まえ必要な対策は取ってきた。

**町長** 特別養護老人ホームが低地にあり心配する声があるのは承知している。そのことを踏まえ必要な対策は取ってきた。

また施設が築30年を経過したこともあり老朽化という点も考えなければならならず、設置場所も含めて検討していきたい。

① 再び問う。仁宇布小中学校の校舎改修改築は、いつどのような形で実現するのか



岩崎 泰好 議員

**問** 委員会での協議内容は

**答** 山村留学の継続と学校存続を確認



山村留学25年の歴史を明日へ  
開校100周年2015/10/17の子供たち

**質問**

改修・改築の早期実現は、教育課題の中でも最大のものであり、子供たちの教育環境整備は、解決に向け明確な改築・改修の年限を明示し、計画策定を進める必要があると考えるが、教育長には現在までの進捗状況を、教育委員長には今日までの委員会での協議内容と所見を、町長には平成28年1月25日に行われた平成27年度第2回美深町総合

改修・改築の早期実現は、教育課題の中でも最大のものであり、子供たちの教育環境整備は、解決に向け明確な改築・改修の年限を明示し、計画策定を進める必要があると考えるが、教育長には現在までの進捗状況を、教育委員長には今日までの委員会での協議内容と所見を、町長には平成28年1月25日に行われた平成27年度第2回美深町総合

教育会議で特に発言を求め、『教育の様々な課題、とりわけ仁宇布山村留学、学校改築について、将来的にどうするのか、昨年の暮に町と議会に対して仁宇布地域から校舎改築を求める要望があった。この扱いは、慎重を期し、秋頃まで様子を見ながら、じっくり進め、改めて教育委員会に相談したいと考えている。』と発言されたが、その真意がどこにあるのか

を伺う。

**教育委員長**

非常に重要な問題であるとの認識のもと、平成24年2月開催の臨時教育委員会議において、山村留学の継続を確認。仁宇布小中学校に関する協議には、平成25年5月の臨時教育委員会議から、同年8月の教育委員会議まで、合計6回の会議を通じて協議を行い、学校の存続についても確認をされており、同年10月に教育委員会としての考え方について町長と協議している。

非常に重要な問題であるとの認識のもと、平成24年2月開催の臨時教育委員会議において、山村留学の継続を確認。仁宇布小中学校に関する協議には、平成25年5月の臨時教育委員会議から、同年8月の教育委員会議まで、合計6回の会議を通じて協議を行い、学校の存続についても確認をされており、同年10月に教育委員会としての考え方について町長と協議している。

**町長**

教育総合会議の発言の真意が問われているが、要望等々は、非常に重く受け止めている。仁宇布の学校を今後どうすべきか、まだまだ全町的な理解・合意、様々な課題があると思っており、懇談会を立ち上げることから慎重にこれを聞きながら、色んな判断をしていく。このように理解をして欲しいと思っている。これが真意。

教育総合会議の発言の真意が問われているが、要望等々は、非常に重く受け止めている。仁宇布の学校を今後どうすべきか、まだまだ全町的な理解・合意、様々な課題があると思っており、懇談会を立ち上げることから慎重にこれを聞きながら、色んな判断をしていく。このように理解をして欲しいと思っている。これが真意。

**教育長**

従来からの答弁通り、総合的に勘案して、教育委員会としては仁宇布地域に学校は欠かせな

従来からの答弁通り、総合的に勘案して、教育委員会としては仁宇布地域に学校は欠かせな

従来からの答弁通り、総合的に勘案して、教育委員会としては仁宇布地域に学校は欠かせな

○提出議員 諸岡 勇  
○賛成議員 藤原芳幸

北海道、とりわけ道北に住む地域住民にとって、JR北海道の宗谷本線は自らが暮らすまちと、それぞれの都市を結ぶ大切な公共交通機関である事は論を俟たないところです。

## JR北海道 繋ぐ路線へ



す。我々も、決してJR北海道の経営改善に反対するもの

止を受 け入れ ました。 バス 事業へ の経営 転換に よれば 経営効 率が上 がる事 は容易 想定で きる事 廃止に よって、 転換バス の本

でも北海道、関係市町村、JR北海道が中核となり、国、関係団体、地域住民の協力や知恵を借り、道北地域の活性化を図る事が、JR北海道の使命であり、道北地域の創生に繋がると考えます。

# 決議

決議文2本が提出され本議会で審議され可決された。

○提出議員 小口英治  
○賛成議員 諸岡 勇

飲酒運転根絶を宣言する決議

## 飲酒運転 根絶宣言



交通事故のない安全で安心して暮らせる社会の実現は、国民全ての願いである。

返さないためには、警察による取締りと、本人の自覚のみに任せるのではなく、地域社会全体として、飲酒運転は「しない、させない、ゆるさない」という規範意識を、住民はもとより社会風土として定着させなければならぬ。

美深町民は、飲酒運転撲滅に率先して取り組み、意識啓発の一層の充実を図り、北海道をはじめ、各市町村、各関係機関や団体との連携を強化するとともに、町民一丸となって飲酒運転の撲滅に取り組むことをここに宣言する。

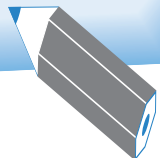
# レポート

## 総務住民常任委員会

### 所管事務調査

調査事項  
美深町の税全般の現状と課題について

- ①町税、国保税の課税額・収納額・滞納額の状況について
- ②上川広域滞納整理機構の取り扱い実績について



#### 調査日

平成28年8月3日

#### 調査の内容

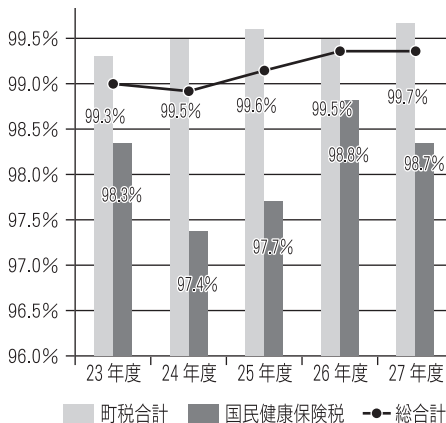
安定した自主財源の確保と納税の公平性の確保について。

課税額・収納額・滞納額の状況、また平成23年度から加入している上川広域滞納整理機構の実績について調査する。

#### 調査のまとめ

町税、国保税の課税額・収納額・滞納額を調査するにあたり、上川広域滞納整理機構への加入前との比較資料として、平成23年度から平成27年度までの5年間の資料提出があり、その資料に基づき調査を実施した。

平成23年度の課税額合計5億7167万3千円で収納額合計5億4152万7千円、滞納額3014万5千円であったが、平成27年度では課税額合計5億1920万7千円、収



#### ◆収納率（現年課税分）

納額合計5億715万円、滞納額1205万7千円と、いずれの額も減少に推移している。

滞納額（滞納繰越分）については、平成23年度2487万8千円あったのが、平成27年度は925万7千円と減少している。収納率（滞納繰越分）は、平成23年度16・3%が平成27年度には42・3%と26・0%も収納率が上昇している。

また、現年分滞納額についても、平成23年度526万7千円あったのが、平成27年度には280万と減少している。現年分収納率についても、平成23年度99・0%が平成27年度には99・4%と0・4%上昇している。

このような収納状況



大きな効果を期待する上川広域滞納整理機構

をみると、上川広域滞納整理機構への加入による効果は大きいと判断できる。

さらに、担当部署では、未納者の状況把握を詳細に行い、文書・電話・面接と段階を踏み、滞納の解消と新たな滞納者を発生させない取組みを進め、滞納額の縮減に努めている。

今後とも、上川広域滞納整理機構と連携を密にし、未納者情報の把握・共有を積極的に進めながら、納税者のニーズに応え、収納率を上げる努力をしていくことが望まれる。

## 所管事務調査

調査事項  
道路側溝と下水道の現状と課題

- ①道路側溝、下水道の維持管理について
- ②長寿命化計画の内容(下水道)

# 委員会

## 産業教育常任委員会

### 調査日

平成28年7月11日

### 調査の内容

①降雨時・災害時等における雨水等の道路側溝排水について、適切に管理・整備がなされているか、今後の課題をどのように考えているか。

②公共下水道施設について、長寿命化計画に基づき管理・整備等が進められているか。浄水管理センターの設備等の耐用年数による更新が計画的に進められているか。

### 調査のまとめ

①市街地の幹線排水路(雨水処理)は、美深川、9線川、オキキン川の3流域で排水され、通常の降水量は排水できるが、ペンケニウプ川からの土地改良区かんがい水路の越流水が加わると、排水能力を超えるため、現状の排水路での対応は難しい。

対応可能な排水路の整備は現実的ではなく、原因となる河川改修等の対策も考えなければならず今後の課題である。

調査では、雨水枡が大量の土砂に覆われている例はないが、土砂や落ち葉等が想定以上堆積している枡があることも考えられる。約3千箇所の雨水枡の計画的な管理が必要である。機動班の業務実態からして、これらの清掃作業は民間委託を考慮される。

②公共下水道については、平成27年から31年までの5ヵ年計画で長寿命化に取り組んでいる。

浄水管理センターの施設の多くは、設置後20年以上経過しているが整備計画のもと随時更新されており、8箇所あるマンホールポンプ所も計画的な更新が予定されている。

管路の多くは腐食に強い塩ビ管が使われており、マンホールの侵入水を防止するため自走式カメラによる調査を行うなど、計画に沿って事業が進行されている。

現状の処理池は、供用開始当時は3池の計画だったが、現在2池使用されているが、人口推計でも示すとおり受益者は減少するが、

当面は現体制が継続される。

不明流入水は以前からの課題だが、マンホールや各家庭における除雪機による点検口破損に伴う流入も考えられ、町民に対しての啓蒙活動と調査が必要である。



落ち葉等堆積している雨水枡



計画的な整備計画に基づく浄水管理センター



## 議会広報研修会

8月24日札幌市にて、全道町村議会広報研修会が開催された。

研修では、「議会広報誌の表現基本」をテーマに、芳野政明氏が、紙面編集のポイント・視覚化の基礎知識を講義。

各町村より依頼のあった広報誌について実践的に審査、指導する広報クリニックを実施。明確な議事公開、分かりやすい議事と見出し、読みやすい紙面づくりに着目しクリニックをした。

この研修会を参考に今後より身近な議会広



全道町村議会広報研修会

## 議会の動き・予定

- 8/22～23 議会広報研修会
- 9/2 全員協議会
- 9/6 議会運営委員会
- 9/7 農作物生育状況調査
- 9/12～16 第3回定例会
  - 9/12提案説明、一般質問
  - 9/14～15 決算特別委員会
  - 9/16 本会議 議案審議
- 10/19 議会広報特別委員会
- 10/25 自治会連合会との懇談会
- 10/26 上川管内長村議会研修会
- 10/28 議会広報特別委員会
- 11/7 総務住民常任委員会  
所管事務調査
- 11/8 産業教育常任委員会  
所管事務調査
- 11/24 議会と町民との懇談会

報誌であるための編集発行に創意工夫をしていきたい。

## 上川管内町村議会議員研修会

10月26日美瑛町にて、上川管内町村議会議員研修会が開催された。研修では、「政治の行方を展望する」と題して、時事通信社解説委員長山田恵資氏が、「国民健康保険制度改革について」と題して、道保険福祉部安全局国保課課長望月泰彦氏が講演をした。

## 美深町自治会意見交換会開催

平成28年10月25日役場大会議室で自治会長と議員との意見交換会が開催された。

テーマ「①美深町議会の議員定数」「②美深町の医療体制」について、多岐にわたり意見要望等が出された。



### 【主なご意見(要約)】

- ①美深町議会の議員定数について
- 現状維持でもう少し様子を見たい。
  - 定数減の声はあるが、委員会構成を考えると、考え方や意見の幅が狭くなる。
  - 多くの意見を聞き慎重に検討すべき。
  - 人口減少は避けられなく、先を見越した削減を行うことが良いが、意見要望が行政に届かない、チェック機能が低下等懸念される。報酬を含めた考えが必要。
  - 人口減少に伴い、減らすべきだと思う。
  - 特色あるまちづくりを進めるために町長・町議・職員一体となって町政を。
- ②美深町の医療体制について
- 内科の固定医配置の強化を進めてほしい。
  - 町内の医療機関は必要であり、医療体制維持に負担が係ることは理解するが現状維持。
  - 病院が無くても良いと思う町民はいない、医療のあり方考え方を変えるべき。町内の医療介護等総合的に考える必要がある。



## 函岳のめ

被害をもたらしました。特に台風10号の大雨により、上川管内清水町と新得町、大川管内南富良野町は非常に大きい被害を受けました。その様な地域から見ると、わがまち美深町は被害が少なく済んでいます。

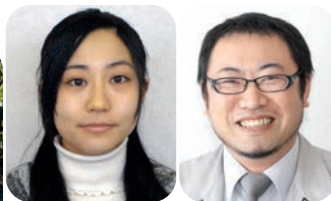
今年夏の台風は、北海道を三度に渡り直撃し非常に大きいです。

ただ、今後地球温暖化が進み、いつ今回のような台風が上陸し、大雨災害が来るかもしれない。今年3月に改正された「洪水ハザードマップ」が、9月に町民の皆様のお手元に届いていると思います。是非とも家族全員で一読されますようお願いいたします。是非とも、ご不明な点等がありましたら、各自治会等で地域担当職員を活用し、「いざというとき、すぐ動けるように」ハザードマップを活用してください。



第82号(2012年7月)

第83号(2012年11月)



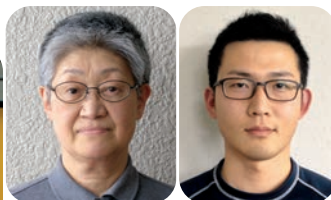
第84号(2013年1月)

第86号(2013年7月)



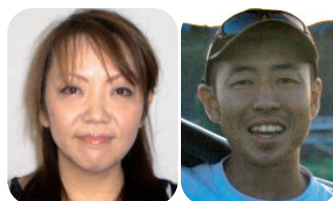
第87号(2013年10月)

第88号(2014年2月)



第89号(2014年4月)

第90号(2014年7月)



第91号(2014年10月)

議会広報  
私からのメッセージ  
顔  
その④

第92号(2015年2月)



第94号(2015年7月)

第95号(2015年11月)

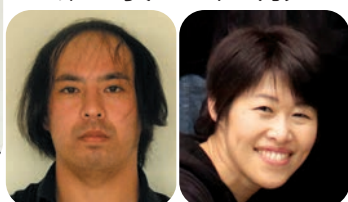


私からのメッセージは、創刊号から町民の皆さんからの投稿を頂きました。  
若かりし頃の顔・懐かしい顔・思い出の顔・顔・顔…



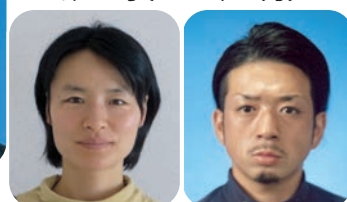
第96号(2016年2月)

第97号(2016年5月)



第98号(2016年8月)

第99号(2016年11月)



99号までメッセージをいただいた皆さまの写真170名掲載させていただきました。  
これからも読みやすい議会広報を作成できるように努力研究していきます。





# 私からのメッセージ

お二人にメッセージをいただきました。



## 30歳を目の前にして

中瀬 祥吾

美深で産まれて、高校まで育つて、札幌に行き、神奈川、東京、大阪、色んな所で生活をしてきました。美深に帰ってきたきっかけも、何をしても長く続かなかった自分の不甲斐なさからでした。でも今は、帰ってきた良かったと思っ

ています。農業を始めて丸5年が経ちました。やり甲斐もあり、今の生活も好きで、農業という仕事で自分には合っていると思いついてきました。今は青年部活動にも力を入れていて、今年初めての企画を色々

してきて、その中で一生懸命やっていくほど、今まで交流がなかった方や活動を通して今の青年部を色んな方に知って頂いて、やって良かったと思っています。これからも、色んな事をやっていきたいと思っています。今年から、商工会青

年部との交流として合同研修にも行く事になりました。今回、美深の姉妹都市である添田町にも行く事になり、若い世代の自分達が行き、添田町の事をもっと知り、これからの交流にどんな携わっていきたいと思っています。最後に、今、色んな経験をさせて貰っていますが、この経験を自分が経営するときに必ず活かしたいと思

## 美深の野菜はおいしい!

かわ 河津 夕卯子

三重県で会社員をしていた夫が仕事を辞め、農業をするために家族5人で美深町へ引っ越しして来たのが去年の3月末です。三重ではもう春の訪れを感じていたのに、こちらへ来ると、辺りは雪で真っ白。北国へ来たんだなあと実感し

ました。農業研修は今年度で終わり、来年からは自分達で本格的に営農をしていきます。研修の傍ら、家庭菜園もさせて貰っています。以前にも荒地を借りて野菜を作っていたのですが、自己流だった

ので、なかなか思うように収穫出来ませんでした。しかし、こちらではプロの農家さんのご指導もあり、ぐんぐんすくすく育ち、今年もトマトや胡瓜、スイカ等、沢山の野菜を収穫する事が出来ました。採れ過ぎた物は、ピ

ユレやチャツネ、漬物等に加工してみました。美深の野菜は本当に美味しいです。南瓜を本州の人に送ったところ、「こんなにおいしいかぼちゃは今まで食べた事がない!」と、大変喜ばれました。これから、美深の美味しい野菜を多くの人に食べてもらえよう、精進していきます。

作 本田 幸子

## 赤ちゃんのエネルギー

